

部局名	財務部	所属名	財政課	所属長名	山口 清孝	電話	483-1151 内線3310
-----	-----	-----	-----	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	4114	事務事業名称	財務会計システム運用管理事業				短縮コード	経常	4114	臨時	4115	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	04	財政管理費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 根拠法令等		八千代市財務規則							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
予算編成・決算集計業務, 予算執行・出納業務等, 市全体の財務会計の根幹を支えるシステムの運用管理を行うものである。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱 (章)	07	計画の推進のために					
現在の財務会計システムは平成8年度に開発・導入され, 以来, 二度のリース機器の更新とそれに伴うバージョンアップ・修正を行っている。現システムはC/S型で構成され, ソフトとハードを一体で調達しているが, 現在の主流はWeb型のシステムであり, 調達に当たってもソフトとハードを分離する例が多い。今回の更新では, システム構成や調達手法を見直し, 情報化投資を最適化するとともに, 地方公会計制度を巡る国の動向にも留意し, 市の財務会計業務の効率化を図っていく必要がある。					大項目 (節)	01	市民主体による自立的な行政経営					
					中項目	03	第3章持続可能な行政経営の確立					
					小項目 (施策)	01	(1)効率的な行政運営の確立					
					細項目	05	⑤電子自治体の推進					
					実施計画の計画事業							
				計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	財務会計システム システムを使用する職員							
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成24年度に実際に行ったこと: 財務会計システムのリース及び保守管理業務委託 財務会計システム機器の修繕 財務会計システム更新に係る検討 ※平成25年度に計画していること: 財務会計システムのリース及び保守管理業務委託 財務会計システム機器の修繕 財務会計システム更新							
意図 (何を狙っているのか)	財務会計業務を電算処理するシステムを導入・安定稼働させることで, 事務処理の正確性・迅速性の向上と事務量の軽減, 財務情報の一元化による活用を図る。							
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外							
区分	指標	内容	単位	23年度		24年度		25年度
				実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	専用入力端末数	台	70	70	70	70	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	システム修繕件数	件	2	2	1	3	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	システムの正常稼働率 (稼働日数/業務日数)	%	100	100	100	100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	4114	事務事業名称	財務会計システム運用管理事業			所属名	財政課
	単位	23年度		24年度		25年度	
		実績	計画	実績	計画	計画	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	9,087	8,573	8,383	6,800
	その他	千円					
	主な事業費の内訳		修繕料 133千円 委託料 509千円 使用料及び賃借料8,446千円	修繕料 225千円 委託料 510千円 使用料及び賃借料7,838千円	修繕料 29千円 委託料 509千円 使用料及び賃借料 7,845千円	修繕料 169千円 委託料 5,484千円 使用料及び賃借料 1,147千円	
人件費(B)	千円	335.8	331	331	331		
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,422.8	8,904	8,714	7,131		

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	財務会計業務の正確性・迅速性を向上させ、また事務量を軽減することにより、会計課・財政課は元より全庁的な業務効率が高まり、効率的な行政運営を確立することができる。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	一定の成果は挙げられているが、業務の効率化は常に求められる。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	システムの運用・保守を委託することは可能だが、根拠規定である財務規則の運用を含め財務会計業務そのものの民営化は現実的でない。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	財務会計業務を電算処理するシステムとしては適切である。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	新システムの導入により、有効性が向上するとともに、システム構成や調達手法を見直すことで費用負担が抑えられ効率性が向上する。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				
		<input checked="" type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	2			実施主体 (所管部署)		
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し						
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input checked="" type="checkbox"/> ある	効率性を向上させる費用の低減にはパッケージシステムの導入が効果的だが、パッケージに合わせた業務と関係規定の見直しが必要になる。				
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	4114	事務事業名称	財務会計システム運用管理事業			所属名	財政課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続			現行システムの安定稼働に配慮しつつ、システム構成や調達手法の見直しによって情報化投資を最適化するとともに、地方公会計制度を巡る国の動向にも留意し、市の財務会計業務の効率化を図る。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現下の財政状況に鑑み、まずは経費節減による効率性の向上を至上命題として費用対効果を十分検討し、最小の経費で最大の効果を得られるよう努める。
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
財務会計システムの機能追加や運用時間の延長などの要望がある。	

所属長コメント	地方公会計制度を巡る国の動向にも留意し、運用面での課題要望に配慮しながら調達方法の見直しを行い、市の財務会計業務の効率化を図っていく必要がある。		
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続		
	財務会計システムの更新にあたっては、業務の正確性、迅速性を向上させ、会計事務との連携や規則の改正等課題解決に努め順次推進すること。		